

■ シンポジウム 30-S6

薬剤師の倫理～リベラルアーツの重要性～

座長 平井みどり 神戸大学医学部附属病院 薬剤部

座長 狭間 研至 ファルメディコ (株) ハザマ薬局

薬剤師が「医療人」と法的に明記されて久しい。この規定はすなわち、薬剤師は単なる技術職ではなく、高度な倫理性と人間性が要求される職種であるということだ。技術系高等教育では、科学技術の進歩に伴って専門教育が質・量ともに拡大の一途であり、限られた教育年限ではどうしても一般教養教育が圧迫される傾向にある。しかし上に述べたような、高度な倫理性と幅広い人間性を身につけるためには、「教養」教育の充実は必須である。薬学6年制のカリキュラムでは、全学年を通じて学ぶ内容に、ヒューマニズム教育が組み込まれているが、裾野の広い教養のうえに立って初めて、ヒューマニズムの真意が身につく実践できるのではないだろうか。「医療人」とは選ばれた身分であると思うのだが、“noblesse oblige” すなわち高度な専門職能人に求められる義務が忘れられているように思われる。

本シンポジウムでは、様々な立場で従来の「薬剤師」の枠にとらわれない活動を実践、あるいは支援されている先生方に、リベラル・アーツ教育の重要性と薬剤師倫理の様々な局面についてご講演頂く。

30-S6-1

薬剤師の倫理トレーニングに活かすリベラル・アーツ

静岡大学人文学部

松田 純

医薬分業や医療の構造改革によって薬剤師の役割が大きく変わろうとしています。カウンター越しだけではなく、ベッドサイドや在宅医療で患者と直接向き合うケースが増えています。薬剤師が薬という物質を扱う自然科学系の専門職という自己了解を超えて、国民の望む対人専門職へと進化を遂げるには、どのような薬剤師教育が求められているのでしょうか？

わが国の医療に生命倫理の定着がある程度なされてきましたが、＜薬剤師の倫理＞の開発はその職務歴史上まだきわめて不十分です。薬学教育6年制のなかで「豊かな人間性と、高い倫理観・コミュニケーション能力を備えた薬剤師」像が目指されていますが、そこに求められているのは「道徳的な情操の涵養」ではありません。患者の切実な想いに共感できる豊かな想像力は、もちろん人間として必要でしょう。しかし医療という業務の一翼を担う専門職（プロフェッション）は、共感から生まれた情緒だけで判断することは許されません。情操教育ではなく、複雑な現代社会のなかで倫理的・法的・社会的な諸問題を的確に理解し分析し、適切な方向性を見出せるようになるための知的なトレーニングこそが必要です。

例えば、同僚の調剤ミスを発見した時、職場を共にする者同士の協調関係を重視するのか？ 患者の健康・安全を第一に考えるのか？ 対外的なリスクマネジメントが絶対なのか？ 内部告発に踏み切るべきか？……等々、さまざまなモラルディレンマに巻き込まれます。直面する問題の本質を的確に理解し分析するためには、医療薬学の知識は言うに及ばず、関係法規の理解や、ゆるがせにできない倫理原則についての認識など、幅広い教養基盤を必要とします。リベラル・アーツの教育基盤の上に、諸学を総動員した倫理トレーニングを中核に据えた教育が、今こそ薬剤師にもとめられているのです。

現代の科学技術の進歩はすさまじく、生命や人間についての伝統的理解を超えてしまいました。伝統的な人間観・生命観を前提にした伝統的な倫理原則が必ずしも十全に機能しない時代に突入したのです。具体的なケースのなかで諸科学とリベラル・アーツを総動員して答えを探さなければなりません。そこから倫理原則の修正や補強へと跳ね返ってもきます。

わたしたちは「薬の倫理学と薬剤師の倫理教育プログラムの構築および薬の歴史文化論的研究」というプロジェクト（平成18 - 20年度科研費）を立ち上げ、現在『薬剤師が出会うモラルディレンマ』という教科書（2008年刊行予定）の作成に取り組んでいます。原理と経験との間で、再吟味と修正を繰り返す絶えざる往復運動。薬剤師の倫理構築へのチャレンジは、倫理的吟味の力量が問われる場でもあります。

第17回日本医療薬学会年会

講演要旨集

会 期：平成19年9月29日（土）～9月30日（日）

年 会 長：堀内 龍也（群馬大学大学院医学系研究科・医学部附属病院薬剤部）

メインテーマ：社会の期待に応える医療薬学を

主 催：日本医療薬学会

後 援：群馬県、前橋市、高崎市、社団法人日本病院薬剤師会、群馬県病院薬剤師会、
日本薬剤師会、群馬県薬剤師会、前橋市薬剤師会、日本薬科機器協会

会 場：【群馬県民会館】

〒371-0017 群馬県前橋市日吉町1-10-1
TEL：027-232-1111 FAX：027-232-1115

【前橋商工会議所会館】

〒371-0017 群馬県前橋市日吉町1-8-1
TEL：027-234-5111 FAX：027-234-8031

【前橋市総合福祉会館】

〒371-0017 群馬県前橋市日吉町2-17-10
TEL：027-237-0101 FAX：027-219-0337

【前橋テルサ】

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-5-1
TEL：027-231-3211 FAX：027-231-3955

第17回日本医療薬学会年会事務局

群馬大学大学院医学系研究科薬効動態制御学

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-22

TEL：027-220-8766 FAX：027-220-8743

E-mail：jsphcs2007@aperto-con.jp

HP URL：http://www.aperto-con.jp/jsphcs2007/

会期中年会本部事務局【期間：9月28日（金）～30日（日）】

群馬県民会館 5F 505・506 会議室

TEL：027-235-4117 FAX：027-235-4118

■ シンポジウム 30-S6

9月30日(日) 9:30-11:30 D3会場(前橋テルサ つつじ)

薬剤師の倫理～リベラルアーツの重要性～

座長 平井みどり

神戸大学医学部附属病院 薬剤部

座長 狭間 研至

ファルメディコ株式会社 ハザマ薬局

30-S6-1 薬剤師の倫理トレーニングに活かすリベラル・アーツ

松田 純 静岡大学人文学部

30-S6-2 研究的薬物治療における科学と倫理の両立—薬剤師に求められること—

古川 裕之 金沢大学医学部附属病院 臨床試験管理センター

30-S6-3 薬剤師業務で出会うモラルディレンマ

川村 和美 株式会社スギ薬局薬事研修センター主任研究員

30-S6-4 在宅医療の現場で試される薬剤師の倫理観

狭間 研至 ファルメディコ株式会社 ハザマ薬局

■ シンポジウム 30-S7

9月30日(日) 13:30-16:00 D3会場(前橋テルサ つつじ)

薬学6年制における大学院教育のあり方

座長 山田 勝士

鹿児島大学医学部歯学部附属病院 薬剤部

座長 山田 安彦

東京薬科大学

挨拶・趣旨説明

山田 勝士

鹿児島大学医学部歯学部附属病院 薬剤部

30-S7-1 今後の大学院教育について

松谷 治

文部科学省 高等教育局医学教育課

30-S7-2 6年制における大学院教育

越前 宏俊

明治薬科大学

30-S7-3 社会人大学院教育

木津 純子

共立薬科大学

30-S7-4 製薬企業が望む大学院教育

高柳 輝夫

第一三共株式会社

30-S7-5 医療現場が望む大学院教育

乾 賢一

京都大学医学部附属病院 薬剤部

総括

山田 安彦

東京薬科大学